

(七宗町)

令和元年度事例

【地域の概要】

- 七宗町は、岐阜県の中南部に位置し、東西・南北はそれぞれ約12kmをもち、面積は90.47km²あり町域の90.3%は、山林が占め、平地は極めて少ない中山間地域です。
- 地域全体での高齢化、地域外在住者が農地を相続等により、耕作放棄地が増加している。

取組開始前の状況や課題

- 農地を相続した非農家・町外居住者の増加により耕作放棄地が今後増加する可能性が高い。
- 農業従事者の高齢化及び担い手(後継者)不足により、農地の遊休化。

取組内容

- 農業委員・最適化推進委員・事務局の農地パトロールにより、山林原野化し農地の復元が困難な農地の非農地判断を実施。
- 集落ごとに地図を作成し、遊休農地や荒廃農地を調査する中で、活用できる守るべき農地とそうでない農地を整理。
- 交付金事業の組織代表者等との話し合い。

今後の展開と方向性

- B分類(再生利用困難)に区分された荒廃農地については現況に応じて非農地判断を行い、守るべき農地を明確化していく。
- 各農業委員が農地パトロールを実施し耕作放棄地等の状況把握。
- 中山間地域直接支払交付金及び多面的機能支払交付金を活用し、現状維持や少しでも遊休農地を減らすよう取組んでいく。